

令和 5 年度 地域福祉活動支援事業 ホームページ用報告書

神奈川県社協ホームページに掲載しますので、助成事業の概要を簡潔に記入してください。

※必要事項を記入または☑ 1 ページ以内に収まるよう作成

団体名	ばたふらい (Butterfly)		
団体の属性	☑セルフヘルプグループ・当事者等		□ボランティアグループ等
	□市町村社協やそれを構成員とする実行委員会等		
助成区分	☑一般助成	□協働モデル助成	協働モデル助成 本会提示テーマ
助成事業名	心の病（精神疾患）を持つ方がよりよく地域で生活できるようにするための事業		
事業の目的	心の病（精神疾患）などの生きづらさを抱える人がよりよく生活できるようにするため		
事業概要	<p>① 「フリースペースてふてふ」（会場） 心の病（精神疾患）などの生きづらさを抱える人の居場所、社会との接点を持つ場。また、多様な人が交流することによって、お互いの理解を促進させたり、情報交換やコミュニケーションを取る場、共感を得られる場の開催。福祉関連や他セルフヘルプグループの情報等の資料も閲覧できるようにしている。</p> <p>② 「S・K・I ～精神向上委員会～」(会場・オンライン) セルフヘルプグループとして、心の病（精神疾患）に関わる人との分かち合いによって前向きに生活していくための語りあいの場。また、まだ病識がない、診断名がついていない・通院はしていない方、休職中の方、精神障害・発達障害の診断をされたばかりの方、HSP（織細さん）など、こころの生きづらさがある方の、悩み・困りごとを共有したり、語り合う場。特にオンラインでは、顔や声を出さなくても（チャットのみ）でも会話できるメリットを活用。</p> <p>③ 「生きづらさを抱えるご夫妻の“生き方”とは？」講演会 (会場・オンライン) 心の病（精神疾患）などの生きづらさを抱えている当事者の恋愛と結婚について、当事者本人の体験談を聞くことで、恋愛と結婚についての希望や勇気を持ってもらうこと。及び、市民等への心の病（精神疾患）などの生きづらさについての普及啓発。</p> <p>④ 「県西 SHG ゆるっとつながろう会」(会場もしくはオンライン) 神奈川県県西方面（相模川以西）で活動するセルフヘルプグループ及び福祉関係者等のネットワーク構築、つながりづくり、情報交換・情報共有。また、セルフヘルプ活動自体の普及啓発。</p>		
成果や課題	③について、講師の急な体調不良により、急遽、生きづらさがあり、かつ、恋愛と結婚について話ができる方を複数名探さなければいけないというトラブルが起き、とてつもなくバタバタしたが、他のセルフヘルプグループを運営されている方々や当事者仲間の方々が、代役を引き受けてくださったり、様々なご協力を頂いたことで、無事に開催することができ、横のつながりや仲間のチカラを改めて感じる事ができた。		
今後の展望	①・②は継続して開催予定。 ③は、次年度以降は、例年通りに戻し、一般就労している方の体験談をお話頂く講演会として開催予定。 ④については、スケジュール調整の難しさ等により、予定回数の開催ができなかった。今後の検討課題としたい。		
活動の様子が分かる画像 2枚程度添付	<p>【 フリースペースてふてふ 】 資料コーナーの写真</p> 		